

科 目 名		学 年	単 位	授 業 時 間	科 目 区 分	授 業 形 態	学 修 単 位	
化学A: Chemistry A		1MESB	2	90分×30回	履修	講義・通年	—	
教 員 名		花田祐策: HANADA Yusaku						
授 業 概 要	物質に関する学問である「化学」の基本的な考え方、すなわち物質の構造、変化に関する考え方の習得を目標とする。							
	到 達 目 標			評 価 方 法				
1. 物質の構造に関する知識が習得できる。 2. 物質量の意味およびその利用方法が習得できる。 3. 反応式のたてかた、量的な関係が習得できる。 4. 酸、塩基の考え方、中和反応の意味が習得できる。			(a+b+c-d) ÷ (A+B+c) × 100 定期試験: A点満点中a点 小テスト: B点満点中b点 課題: c点 授業態度他: d点					
学 習 ・ 教 育 目 標		(A)	JABEE基準1(1)					
授 業 計 画	回	項 目	内 容		回	項 目	内 容	
	第1	物質の構造	はじめに、物質の分離		第16	濃度	モル濃度	
	第2		単体、化合物、元素、原子の構造		第17	反応式	反応式のたてかた(目算歩)	
	第3		希ガス元素の電子配置、陽イオン		第18		反応式のたてかた(未定係数法)	
	第4		陰イオン、イオン結合		第19		反応をとまなう計算(基本)	
	第5		イオン結合でできた物質の表し方		第20		反応をとまなう計算(過不足)	
	第6		周期表		第21		演習	
	第7		前期中間試験		第22		後期中間試験	
	第8		前期中間試験の解説、分子、電子式		第23	酸、塩基	後期中間試験の解説、酸とは	
	第9	物質量	共有結合、金属結合、原子量、分子量、式量		第24		塩基とは、酸・塩基の強弱	
	第10		molと個数の関係		第25		水素イオン濃度、pH	
	第11		molと質量の関係		第26		指示薬、中和反応	
	第12		molと体積の関係		第27		塩の分類とその水溶液の性質	
	第13	濃度	質量パーセント濃度		第28		中和滴定	
	第14		演習		第29		中和滴定曲線	
第15	まとめ	前期末試験の解説		第30	まとめ	学年末試験の解説、授業評価アンケート		
自学自習の内容								
関連科目								
教科書		新編化学基礎(東京書籍)						
参考書		ダイナミックワイド図説化学(東京書籍)、レッツトライノート化学(東京書籍)						
授業評価・理解度		最終回に授業評価アンケートを実施						
副担当教員								
備考								